

「臨床婦人科産科」第 66 巻 総目次

2012 年 (第 1 号～第 13 号)

数字は通巻頁数, () は号数

今月の臨床

●ワンランク上の漢方診療 (1)

〈漢方医学の基礎知識〉

1. 漢方的診察・診断法
嶋田 豊…………… 6
2. 〈証〉を理解する
石野 尚吾・石野 博嗣・久光 正……………14
3. 漢方療法のエビデンス—Evidence-based Kampo medicine
高松 潔・小川真里子……………23

〈漢方処方の実際〉

1. 女性不妊・排卵障害
安井 敏之……………33
2. 男性不妊
小宮 顕・渡部 明彦・川内 葉子・布施 秀樹……………43
3. 不育症
高桑 好一……………51
4. 月経前症候群
対馬ルリ子……………56
5. 月経困難症
森 裕紀子・花輪 壽彦……………62
6. 更年期障害—hot flushを中心に
武田 卓……………68
7. 更年期のうつ
後山 尚久・藤原 佳子・藤原 祥子……………72
8. 筋肉痛・神経痛—がん化学療法時の副作用対策として
日高 隆雄……………79
9. 産婦人科周術期管理における漢方薬の役割—腸管管理を中心に
加藤 育民……………84

●分娩誘発と陣痛促進法の見直し—安全な分娩管理を目指して (2)

陣痛発来のみカニズム

- 瓦林達比古…………… 120

〈分娩誘発の適応とタイミング〉

1. 母体適応
渡辺 尚・松原 茂樹…………… 126
 2. 胎児適応
牧野真太郎・竹田 省…………… 131
- 頸管熟化不全への対応
- 杉村 基…………… 142
- 陣痛の評価と促進
- 高橋 恒男…………… 148

〈子宮収縮薬の薬理作用と副作用〉

1. プロスタグランジン—prostaglandin
平松 祐司…………… 155
2. オキシトシン—oxytocin
平松 祐司…………… 160

子宮収縮薬使用時の留意点

- 今野 秀洋・塚原 優己…………… 166
- 帝王切開への方針変更のタイミング
- 吉田 敦・増崎 英明…………… 173
- 分娩誘発・促進に関するインフォームド・コンセント
- 東 美和・関沢 明彦・市塚 清健・新城 梓・岡井 崇…………… 179

●不育症の診療指針 (3)

わが国の不育症の実態

- 齋藤 滋…………… 216

不育原因の検索手順

- 伊藤 由紀・高橋 絵理・土橋麻美子・川口 里恵・秋山 芳晃・拝野 貴之・杉本 公平・田中 忠夫…………… 225

不育症に関する遺伝的要因

- 杉浦 真弓・水谷 栄太・北折 珠央…………… 232

〈不育症の治療法〉

1. ヘパリン, アスピリン療法 (抗凝固療法)
橋元 粧子・平野 由紀・柴原 浩章・鈴木 光明…………… 240
2. ガンマグロブリン療法
中塚 幹也…………… 246
3. 手術療法
和泉俊一郎・呉屋 憲一・鈴木 隆弘…………… 250

4. 漢方療法		
藤井 知行	256	
5. 夫リンパ球免疫療法		
竹下 俊行	262	
6. ピシバニール療法		
伊藤 理廣	269	
7. カウンセリング療法		
大橋 一友	275	
●最小侵襲手術アップデート—minimally invasive surgery (4)		
腔鏡下子宮筋腫核出術		
北出 真理	313	
全腹腔鏡下子宮全摘術—TLHのさらなる低侵襲化		
安藤 正明・矢野 友梨・兵頭 由紀・藤原 和子・長瀬 瞳子・海老沢 桂子・梅村 康太・羽田 智則・太田 啓明・金尾 祐之・奥村みどり	325	
腹腔鏡下卵巣腫瘍手術—付属器切除術・卵巣嚢腫切除術		
浅田 弘法・伊藤嘉佑子・有馬 宏和	335	
腹腔鏡下の婦人科悪性腫瘍手術		
加藤 秀則	344	
腹腔鏡下手術に必要な縫合・結紮手技習得のポイント		
松本 貴	350	
単孔式手術—multi-trocar法を用いたSSL (パラレル法)		
石川 哲也・長塚 正晃・岡井 崇	359	
安全な腹腔鏡手術—技術認定医合格のポイント		
明楽 重夫	365	
ロボット支援下 (da Vinci S Surgical System®) 手術の意義—大腸手術の経験から		
花井 恒一・前田耕太郎・勝野 秀稔・宇山 一朗	374	
婦人科のロボット支援手術		
井坂 恵一	382	
●オフィスギネコロジー—女性のプライマリ・ケア (5増)		
[I 思春期]		
思春期の早発と遅発		
山口 直孝・早稲田智夫・牧野田 知	006	
原発性無月経, 性分化異常症		
菅沼 信彦	010	
不正性器出血, 過多月経, 月経困難症		
竹村 由里・西井 修	015	
肥満とやせ		
甲村 弘子	020	
子宮頸がん予防ワクチン		
橋本 尚・藤岡 徹・那波 明宏	026	
[II 月経異常/不妊・不育/避妊]		
第1度無月経		
千石 一雄・宮本 敏伸・宮川 博栄	032	
第2度無月経		
桑原 慶充・竹下 俊行	039	
神経性食欲不振症, 体重減少性無月経		
永山 志穂・柴原 浩章・鈴木 光明	044	
過多月経, 月経困難症		
西田 正和・古川 雄一・橋原 久司	049	
月経前症候群		
高橋 俊文・渡邊 憲和・倉智 博久	053	
子宮性無月経, 過少月経		
久具 宏司	057	
早発卵巣不全 (POI)		
石塚 文平	062	
排卵誘発法		
齊藤 英和・齊藤 隆和・清水 美和	066	
黄体機能不全		
杉野 法広	070	
卵管性不妊		
清水 良彦・木村 文則・村上 節	075	
男性不妊		
柳田 薫・高見澤 聡・室井 美樹	078	
<不育症>		
①抗リン脂質抗体, 血液凝固異常		
山本 樹生・東 裕福・中村 晃和・市川 剛・佐々木重胤・千島 史尚	084	
②染色体異常		
杉浦 真弓・尾崎 康彦・片野 衣江・北折 珠央	090	
避妊指導		
綾部 琢哉	094	
緊急避妊法		
北村 邦夫	099	
[III 感染症]		
骨盤内炎症性疾患		
関 博之	106	
梅毒, 淋菌感染症		
上塘 正人・前田 隆嗣	110	
クラミジア感染症		
渡辺 博	116	
外陰・陰カンジダ症, トリコモナス陰炎		
林 瑞成	120	

[IV 妊婦]		
妊娠の診断, 予定日の算定, 双胎の膜性診断		
坂井 昌人	128	
異所性妊娠		
児玉 由紀・鮫島 浩	134	
流産		
八木 洋也・濱田 洋実	138	
胞状奇胎		
佐村 修	144	
nuchal translucencyの計測と対応		
亀井 良政	148	
妊婦健康診査と生活指導		
鈴木 寛正・桑田 知之・松原 茂樹	153	
婦人科疾患合併妊娠		
牧野 康男・松田 義雄	158	
〈母児感染の管理〉		
①風疹		
高橋 恒男	162	
②トキソプラズマ, サイトメガロウイルス, パルボウイルスB19		
山田 秀人・谷村 憲司・蝦名 康彦	166	
③B型肝炎, C型肝炎		
花岡 正智・山口 晃史・塚原 優己	176	
④HTLV-I		
築山 尚史・三浦 清徳・増崎 英明	182	
胎児形態異常のスクリーニング		
田中 宏和・秦 利之	190	
胎盤・臍帯異常のスクリーニング		
長谷川 潤一・松岡 隆・市塚 清健・仲村 将光・濱田 尚子・大瀬 寛子・関沢 明彦・岡井 崇	196	
ハイリスク妊娠の抽出		
中山 摂子・中林 正雄	202	
早産の予防		
金山 尚裕	208	
[V 婦人科疾患]		
子宮筋腫		
山下 能毅・大道 正英	214	
子宮内膜増殖症, 子宮内膜ポリープ		
阪埜 浩司・木須 伊織・青木 大輔	219	
子宮内膜症, 子宮腺筋症		
谷口 文紀・原田 省	224	
卵巣腫瘍		
國見 祐輔・前田 長正・深谷 孝夫	229	
機能性卵巣嚢胞, 卵管瘤水腫		
坂巻 健・小林 浩一	236	
膣部びらん, 頸管ポリープ		
梁 善光	240	
バルトリン嚢腫, 外陰腫瘍性病変		
横山 正俊	245	
[VI がん検診]		
子宮頸がん検診		
井上 正樹	250	
子宮体がん検診		
上坊 敏子	254	
乳房外来		
土橋 一慶・菊谷真理子・赤川 元	258	
[VII 更年期・老年期]		
更年期・老年期にどのような疾病をケアすべきか		
河野 宏明	264	
《全身性疾患》		
うつ, 不安神経症		
小川真里子・高松 潔	267	
物忘れ, Alzheimer病		
大藏 健義・片岡 良孝・市村三紀男	272	
肥満, メタボリック症候群		
高橋 一広・漆山 敬子・倉智 博久	276	
高血圧		
嘉川亜希子	280	
脂質異常症		
若槻 明彦	284	
糖尿病, 耐糖能異常		
平松 祐司	289	
骨粗鬆症		
茶木 修	293	
《婦人科疾患》		
月経不順, 不正出血		
高嶺 智子・久保田俊郎	299	
更年期障害		
望月 善子	302	
萎縮性膣炎		
樋口 毅・水沼 英樹	306	
更年期からのセクシュアリティ		
廣井 正彦	310	
《Urogynecology》		
骨盤臓器脱(性器脱)		
古山 将康・延山 裕之・橘 大介・中野 朱美・石河 修	314	
下部尿路障害		
中田 真木	319	

●診療ガイドライン産科編 2011—改訂と追加のポイント (6)

「産婦人科診療ガイドライン—産科編 2008, 2011」作成を担当して

水上 尚典…………… 420

〈改訂・追加のポイント〉

1. 妊婦の耐糖能検査と妊娠糖尿病の管理
平松 祐司…………… 424
2. 妊娠中の体重増加
伊東 宏晃…………… 430
3. 前置胎盤・低置胎盤の診断と管理
松田 秀雄…………… 436
4. 常位胎盤早期剥離
関沢 明彦…………… 442
5. 分娩時大出血への対応
金山 尚裕…………… 446
6. 分娩監視の方法
高橋 恒男…………… 451
7. 分娩誘発の方法
石川 浩史…………… 456
8. 未受診妊婦への対応
藤井 知行…………… 461
9. 妊娠中のHTLV-1抗体検査と説明
濱田 洋実・中村 佳子・岩城真奈美…………… 466
10. 子宮内胎児死亡例における原因検索と家族への対応
石本 人士…………… 474

●卵子の加齢—避けては通れないARTの課題 (7)

ARTにおける加齢の問題

宇津宮隆史…………… 512

加齢による卵巣機能の低下

齊藤 英和・齊藤 隆和・清水 美和・浦野 晃義・松井 大輔・石田 理恵・巽 国子…………… 520

〈高齢女性へのARTの工夫—私はこうしている〉

1. 卵巣予備能の違いに応じた個別治療
浅田 義正…………… 526
 2. 高齢女性へのART：重症卵巣機能障害との戦い
神野 正雄…………… 532
 3. 高齢女性への卵巣刺激の工夫
大西 洋子・森本 義晴…………… 540
 4. 卵巣刺激法と卵子・胚操作のポイント
蔵本 武志・中島 章・大塚未砂子・吉岡 尚美…………… 547
- 卵子提供の現状と今後の課題
- 田中 温…………… 552

〈加齢対策基礎研究〉

1. 卵子のマニピュレーション
藪内 晶子・青野 文仁・加藤 恵一・竹原 祐志・加藤 修…………… 558
2. 幹細胞を用いた卵子の再生
寺村 岳士・細井 美彦…………… 565

●絨毛性疾患アップデート—「取扱い規約」改訂をふまえて (8)

絨毛性疾患取扱い規約第3版—改訂のポイント

田中 忠夫・矢内原 臨・柳田 聡…………… 604

絨毛性疾患の分類—臨床分類, 病理学的分類

平田 英司・工藤 美樹…………… 610

胞状奇胎の発生機構

兼城 英輔・和氣 徳夫…………… 618

〈絨毛性疾患の取扱い〉

1. 胞状奇胎の取扱い
山本 英子・藤原 多子・吉川 史隆…………… 624
2. 胎児共存奇胎の取扱い
金西 賢治・塩田 敦子・秦 利之…………… 630
3. 侵入奇胎と絨毛癌の取扱い
井篁 一彦・谷崎 優子・馬淵 泰士・南 佐和子…………… 635
4. PSTTとETTの取扱い
田代 浩徳・福永 眞治・片渕 秀隆…………… 641
5. 存続絨毛症の取扱い
磯崎 太一・竹下 俊行…………… 647

〈絨毛性疾患の診断のポイント〉

1. hCGの種類と測定法の問題点
三浦 清徳・増崎 英明…………… 654
2. 絨毛性疾患の画像診断
香川 秀之…………… 664
3. 絨毛性疾患の病理
本山 悌一・刑部 光正…………… 671

●前置胎盤と癒着胎盤—ワンランク上の診断と治療 (9)

〈前置胎盤〉

1. 前置胎盤・低置胎盤の疫学
内田 季之・金山 尚裕…………… 712
2. 前置胎盤・低置胎盤の診断
市塚 清健・長谷川潤一・仲村 将光・松岡 隆・大槻 克文・下平 和久・関沢 明彦・岡井 崇…………… 718
3. 前置胎盤・低置胎盤の臨床経過と管理
関口 敦子・中井 章人…………… 724
4. 前置胎盤の帝王切開—術式および工夫
木瀬 康人・木村 正…………… 731

5. 低置胎盤の分娩指針	
蓮田 淳・古川 誠志・鮫島 浩……………	737
〈癒着胎盤〉	
1. 癒着胎盤の疫学	
山田 崇弘・水上 尚典……………	744
2. 癒着胎盤の診断—①超音波による診断	
谷垣 伸治・片山 素子・田中 啓・宮崎 典子・松島 実穂・岩下 光利……………	748
3. 癒着胎盤の診断—②MRIによる診断	
川端 市郎……………	754
4. 癒着胎盤の手術—私の工夫①	
子宮底部横切開法・ターニケット駆血・子宮下部U字縫合を組み合わせる術式	
小辻 文和……………	760
5. 癒着胎盤の手術—私の工夫②	
IVRによる出血対策	
天野 完……………	770
6. 癒着胎盤の手術—私の工夫③	
前置癒着胎盤に対する総腸骨動脈balloon occlusionの実際	
村山 敬彦……………	775
●子宮内膜症の薬物療法—薬物特性の理解と個別化治療 (10)	
子宮内膜症薬物療法の歴史的推移	
神崎 秀陽……………	816
〈症状改善薬の特性と使い方〉	
1. 鎮痛薬	
石原 理・菊地真理子・木村真智子・梶原 健・岡垣 竜吾……………	822
2. 漢方薬	
武田 卓……………	828
〈内分泌療法薬の有用性と問題点〉	
1. EP製剤 (LEP)	
谷口 文紀・原田 省……………	835
2. プロゲスチン、ダナゾール	
岸 裕司・峯岸 敬……………	841
3. GnRHアナログ	
丸山 哲夫……………	847
〈薬物特性に基づく治療法略〉	
1. 若年女性	
北出 真理……………	852
2. 性成熟期女性	
原田美由紀・大須賀 穰……………	860
3. 中高年女性	
清水 良彦・木村 文則・村上 節……………	866
新たな治療薬物への展望	
原田 竜也・久保田俊郎……………	871

●ホルモン補充療法ガイドライン2012年度版—改訂版を読み解く (11)

ホルモン補充療法ガイドライン改訂のポイント

高松 潔・水沼 英樹・堂地 勉…………… 916

〈HRTに期待される作用・効果〉

1. 更年期症状・泌尿生殖器症状の改善
樋口 毅・水沼 英樹…………… 923
2. 骨吸収抑制・骨折予防
倉林 工…………… 931
3. 糖・脂質代謝改善
若槻 明彦…………… 943
4. 血管機能・血圧に対する作用
河野 宏明…………… 949
5. 中枢神経機能の維持
大藏 健義・片岡 良孝・市村三紀男…………… 956

〈HRTの有害事象〉

1. 乳癌の増加
苛原 稔・松井寿美佳・安井 敏之…………… 966
2. 乳癌以外の悪性腫瘍の増加
小川真里子・高松 潔…………… 973
3. 心血管系疾患の増加
岡野 浩哉…………… 982

薬剤の種類と特徴

安井 敏之…………… 991

HRTの禁忌症例と慎重投与症例

大石 元・矢野 哲…………… 1002

HRTの適応と管理方法

望月 善子…………… 1010

●出生前診断の新しいトレンド (12)

出生前診断—最近の動向

平原 史樹…………… 1048

出生前診断の対象疾患

三浦 清徳・増崎 英明…………… 1054

出生前診断の遺伝カウンセリング

澤井 英明…………… 1063

〈出生前診断の方法と意義〉

1. 超音波検査—①初期の検査
亀井 良政…………… 1071
2. 超音波検査—②中期・後期の検査
和田 誠司・杉林 里佳・住江 正大・左合 治彦…………… 1080
3. MRI検査
川端 市郎…………… 1088
4. CT検査—胎児骨系統疾患
室月 淳…………… 1094
5. 羊水検査
鈴森 伸宏・熊谷 恭子・大林伸太郎・杉浦 真

弓	1099
6. 絨毛検査 (CVS)	
夫 律子	1103
7. 母体血清マーカー	
佐村 修	1115
8. 母体血診断	
北川 道弘・鈴木 稚子・桜庭 喜行・関沢 明彦	1120
9. 着床前診断	
末岡 浩・吉村 泰典	1126
●これだけは知っておきたい—婦人科がんの緩和ケア (13)	
婦人科疾患における緩和医療	
松岡 順治	1164
がん疼痛の評価と治療法	
木村 洋輔・志真 泰夫	1172
〈緩和ケアの実際〉	
1. 輸液・栄養管理	
水野 聡己・東口 高志・伊藤 彰博	1180
2. 呼吸器症状の緩和ケア	
田中 桂子	1186
3. 消化器症状の緩和ケア	
吉田 良・溝上 友美・神崎 秀陽・権 雅憲	1192
4. 褥瘡の予防と治療	
古江 増隆	1201
5. 精神症状のケア	
谷向 仁	1208
6. 医師にとってのスピリチュアルケア	
池永 昌之	1215
7. 漢方療法による緩和ケア	
日高 隆雄	1222
〈がん患者の地域連携と在宅緩和ケア〉	
1. 病院の視点から	
梶山 徹・垣見 亮	1230
2. 診療所の視点から	
川越 厚	1236

原 著

子宮内膜癌の発生・進展とhMLH1蛋白発現に関しての免疫組織学的検討	
小林さやか・吉田 朋美・西島 良美・福田 利夫	403 (4)
CIN 治療後における残存HPVの自然消失について	
小林 正幸・村田 晋・平野 開士・長崎 真琴・石田 克成・波田地政代・桃木 美弥・石田	

由香	895 (10)
----	----------

臨床経験

1回の子宮内容除去術で管理した胞状奇胎症例の検討	
福田 貴則・井上 裕美・木幡 豊・日下 剛・門間 美佳・大林 美貴・鶴澤 芳江・市田 知之・外山 唯奈	901 (10)
当院における腹腔鏡下子宮腺筋症切除術	
松永 茂剛・五味 陽亮・一瀬俊一郎・成田 達哉・板谷 雪子・大原 健・高井 泰・斉藤 正博・林 直樹・馬場 一憲・関 博之	1143 (12)

症 例

左卵巣腫瘍のautoamputationによると考えられた遊離卵巣腫瘍の1例	
朝野 晃・島 崇・早坂 篤・渡邊マリア・鈴木 博義・小澤 信義・和田 裕一	105 (1)
骨盤腔に嵌頓し腸閉塞で発見された子宮捻転の1例	
市川 英俊・中田 俊之・林 博章	201 (2)
腹腔鏡術後10日目に肺梗塞を発症した症例	
呉 佳恵・内藤 子来・福岡 実・松田 孝之・子安 保喜	295 (3)
選択的Actinomycin-D動注療法およびUAEにより治療し得た子宮頸管妊娠の1例	
伊勢由香里・國久 有香・上田 智弘・上田 大介・西島 光浩・岩崎 正憲・西川 遼・上村 尚文・濱中 章洋・堀口 英久	495 (6)
早期の娩出により救命し得た妊娠29週母児リステリア症の1例	
山下美智子・佐藤 紀子・高橋 良子・藤谷 真弓・辻江 智子・塩路 光徳・蒲池 圭一・徳平 厚・中山 雅弘	583 (7)
浮腫と腹水貯留がきっかけとなり診断され、急激な経過をたどった妊娠に合併したネフローゼ症候群の1例	
佐藤賢一郎・水内 英充・北島 義盛・塚本 健一・藤田 美惻	587 (7)

診断的腹腔鏡下に偶然発見された消化管外アニサキスの1例	林 博章・石破光咲子・北 香・中田 俊之	695 (8)
婦人科腫瘍との鑑別が困難であったGISTの2例	松村 創平・太田 剛 水谷 雅臣・蜂谷 修・木村 理・菅井 幸雄・高橋 一広・倉智 博久	799 (9)
傍卵巣嚢腫との鑑別が困難であった若年者のperitoneal inclusion cystの1例	宮田 智子・大川 卓也・清水 紀香・宮田 彰・東海林 豊	1035 (11)
高悪性度子宮内膜間質肉腫に高分化型類内膜腺癌が共存したcollision tumorの1例	小林 真実・大和田倫孝・黒田 一・厚木 右介・若佐谷 敦・島田 和彦・山田 哲夫・佐藤 郁夫	1149 (12)
尿管子宮内膜症の2例	田中 千晴・近藤香保里・内海 史・石川 尚武・神谷 典男・内藤 和彦・葛谷 和夫・小畑 直子	1255 (13)
FOCUS		
進みつつある子宮頸がんワクチンの普及と今後の展望	吉川 裕之	92 (1)
卵子提供および海外渡航治療に対する医師の意識調査からみえること	白井 千晶・日比野由利	186 (2)
妊娠中からケアする胎児・幼児虐待予防一大分県ペリネイタル・ビジット事業の取り組みから見えてくるもの	松岡幸一郎	282 (3)
卵巣癌に対する分子標的薬の現状	佐藤 慎也・紀川 純三	388 (4)
「産科危機的出血への対応ガイドライン」活用法	久保 隆彦	484 (6)
出生前診断—何が問題なのか	増崎 英明	676 (8)
第三者の関与する生殖医療の現状と問題点	石原 理	782 (9)
低出生体重児とメタボリック症候群	佐川 典正	877 (10)
アジアの生殖補助医療	日比野由利	1018 (11)

母体血胎児染色体検査	関沢 明彦・四元 淳子・小出 馨子・松岡 隆・市塚 清健・岡井 崇	1242 (13)
教訓的症例から学ぶ 産婦人科診療のピットフォール		
妊娠高血圧症候群による肺水腫を合併した周産期心筋症の1例	上西園幸子・茂田 博行	100 (1)
右付属器切除後に右間質部妊娠した1例	錢 瓊毓・渡邊 征雄・秋山 邦久	196 (2)
造影CTで診断し、腸切除を免れた妊娠26週絞扼性イレウスの1例	齊藤 良玄・三島 隆・山本 貴寛・河口 哲・渡利 道子・相澤 貴之・計良 光昭・吉田 博	290 (3)
子宮体癌術後リンパ浮腫に合併した深部静脈血栓症の1例	丹羽 優莉・山室 理・清水 顕・白藤 寛子・西野 公博・加藤 奈緒・今井 健史・林 和正・茶谷 順也・加藤 紀子	396 (4)
診断に苦慮した間質部妊娠の1例	井阪 茂之	490 (6)
低単位hCGが長期間持続したのち自然寛解した1例	新堂真利子・金尾世里加・長田奈津子・林 永修・西山 理恵・田畑 知沙・福田 綾・國重 陽子・脇本 昭憲・小川 晴幾	571 (7)
子宮留膿腫を認めるが頸部腫大はなく、診断困難であった子宮頸部最小偏倚腺癌の1例	吉川 博子・永野 忠義	689 (8)
子宮内膜症の治療におけるピットフォール—卵巣嚢胞のがん化を見逃さないために	金嶋 光夫・細川久美子	791 (9)
広範な開腹既往症例に対するトロッカー刺入の工夫	笠井 健児	884 (10)
子宮筋腫を合併した妊娠子宮の骨盤腔内嵌頓の1例	井上 裕美・鈴木 志帆・市田 知之	1026 (11)
妊娠21週で腹腔内に大量出血をきたした穿通胎盤の1例	本藤 徹	1134 (12)

切迫早産—抗菌薬療法の有効性	98 (1)
早産予知—3つのキー (1)—早産既往歴	194 (2)
早産予知—3つのキー (2)—胎児性フィブロネクチン	288 (3)
早産予知—3つのキー (3)—子宮頸管の観察	393 (4)
早産予知—3つのキー (4)—頸管長測定と胎児性フィブ ロネクチン検査の組み合わせ	482 (6)
早産予知—3つのキー (5)—治療	578 (7)
ガイドラインとは?	684 (8)
オキシトシン使用に関する日本産科婦人科学会ガイド ライン 2011 に関する懸念 (1)—オキシトシン溶解 液	788 (9)
オキシトシン使用に関する日本産科婦人科学会ガイド ライン 2011 に関する懸念 (2)—オキシトシンの増 量間隔と増加量	890 (10)
オキシトシン使用に関する日本産科婦人科学会ガイド ライン 2011 に関する懸念 (3)—オキシトシン最大 量	1032 (11)
オキシトシン使用に関する日本産科婦人科学会ガイド ライン 2011 に関する懸念 (4)—ガイドラインの意 義	1140 (12)
妊娠中の尖圭コンジローマの取り扱い方	1250 (13)

Estrogen Series (矢沢珪二郎)

早産予防のためのプロゲステロンの使用 (1)	91 (1)
------------------------	--------

早産予防のためのプロゲステロンの使用 (2)	184 (2)
経口避妊薬 (ピル) の実際の有効性はどのくらいであ ろうか?	280 (3)
任意の両側卵巣摘出術 (1)	400 (4)
任意の両側卵巣摘出術 (2)	480 (6)
子宮摘出に伴う予防的両側卵巣摘出術 (3)	580 (7)
子宮摘出に伴う予防的両側卵巣摘出術 (4)—子宮摘出 およびそれに伴う卵巣摘出の有無は更年期におけ る気分・不安状態には影響しない	686 (8)
慢性疾患の予防を意図した更年期後のホルモン療法	798 (9)
エストロゲン単剤療法 (ET) は乳癌を増加させるか	893 (10)
経口避妊薬 (OC) の使用と血栓性脳卒中および心筋梗 塞について (1)	1034 (11)
経口避妊薬 (OC) の使用と血栓性脳卒中および心筋梗 塞について (2)	1139 (12)
経口避妊薬 (OC) の使用と血栓性脳卒中および心筋梗 塞について (3)	1252 (13)

書 評

神崎秀陽 (編) 更年期・老年期外来ベストプラクティ ス—誰もが知りたい104例の治療指針	334 (4)
(評) 木村 正	
神崎秀陽 (編) 更年期・老年期外来ベストプラクティ ス—誰もが知りたい104例の治療指針	441 (6)
(評) 堂地 勉	